ぎょうだ議会だより

No.130
令和8年11月11日発行
3月 6月 9月 12月
定例会は年4回



いじめ・不登校 01



自転車用ヘルメット購入費補助 02

特集

どうなん？決算

議員の視点から見る市の仕事



企業誘致 03



学校再編 04



乗合型AIオンデマンド交通 05

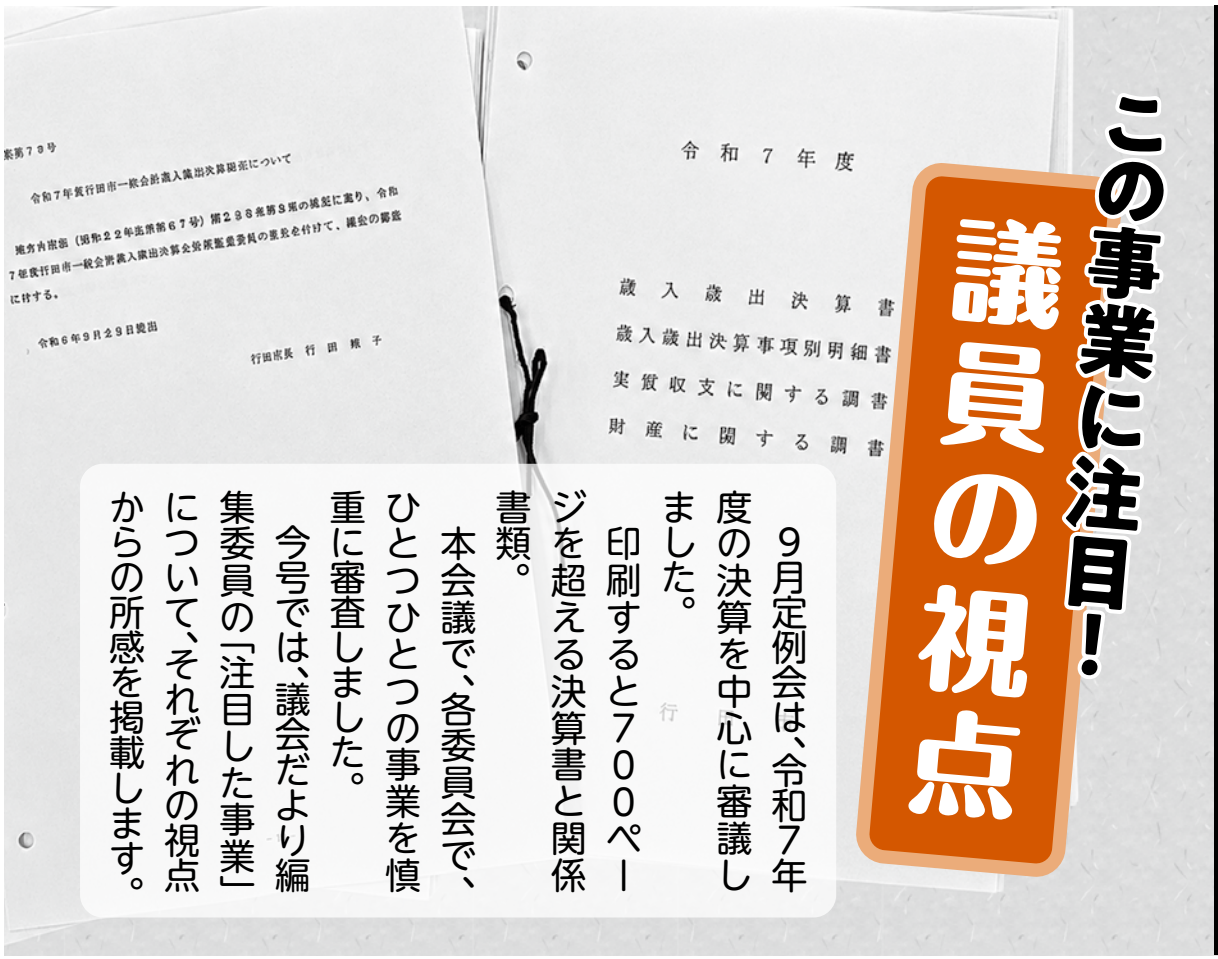


空き家対策 06



グリーンアリーナの空調設置 07

特集 どうなん？ 決算



この事業に注目！
議員の視点

９月定例会は、令和７年度の決算を中心に審議しました。

印刷すると７００ページを超える決算書と関係書類。

本会議で、各委員会で、ひとつひとつの事業を慎重に審査しました。

今号では、議会だより編集委員の「注目した事業」について、それぞれの視点からの所感を掲載します。

事業名 01

いじめ・不登校対策事業



ウイズ教室

本事業は、いじめや不登校に対する対策や児童生徒への教育支援、保護者に対する相談等を行っています。令和７年度は教育支援センターで支援を受けた児童生徒の約半数が元の学校へ復帰を果たし、センターで受験期を迎えた約９割の生徒が進学するなど、事業としての成果に結びついています。

普段の生活の中で自身のお子さまが悩んでいるのでは…と感じたら、子どもにとっての選択肢のひとつとしてまずはご相談を。

この事業に一言！

成果あり！

現代の教育現場における選択肢のひとつとして！



駒見 行彦 議員の視点

事業名 02

自転車用ヘルメット購入費補助事業



この事業に一言！

重要な取り組みと評価

命を守るヘルメット。市民の安全のために！



道路交通法改正を背景に、ヘルメット着用を促進し、自転車の安全利用を支える、重要な取り組みだったと評価します。

事業がスタートしてから令和7年度末で、1612件の申請。令和7年度だけで、589件もの申請があり、多くの市民に利用されました。

3年間の事業は、9月30日で終了となりますが、この実績を生かし、今後も安全対策へのさらなる取り組みを期待します。

事業名 03

企業誘致促進事業



企業誘致パンフレット

この事業に一言！

今後に期待！

企業の立場なら、行田市を選びますか？



令和7年度、行田市は企業誘致促進事業について、産業構造の分析や企業立地に関するアンケートを実施したほか、企業誘致候補地の埋蔵文化財を4地区6か所で先行試掘するなど、企業を受け入れるための準備を進めています。

一方、年度内の実績は令和8年現在も新規企業立地0社、新規雇用0人でした。

「企業を探す」から「企業に選ばれる行田市をつくる」へ。

今後は、より一層成果につながる戦略が求められます。

事業名 04

学校再編事業



この事業に一言！

ワークショップ等 高く評価

新しい学校をつくる！
行田の子どもたち
のために。



野本 翔平 議員の視点

令和12年4月の新義務教育学校スタートに向けて、再編計画の策定や数々の行政手続きをスケジュール通り完了できたことを評価します。

特に、Bブロック新校のために、子どもたちや先生方、地域の皆さんによるワークショップを開き、色々な意見やアイデアを出し合ったことは高く評価できます。

大きな変化に不安や戸惑いを感じている方々にも向き合いながら、このまちの未来を担う子どもたちのために、全力で進めてほしいです。

事業名 05

乗合型AIオンデマンド交通運行事業



【市民の声】
私んちは熊谷に近いから通ってるお医者さんも熊谷。これが使えるといいねえ～。

この事業に一言！

市民から好評

議員のチェック・
提案で改善が
進行中！



村田 秀夫 議員の視点

令和7年1月から始まったこの事業は、「自宅と病院をドア・ツー・ドアで行ける」、「重い荷物があっても楽に帰れる」など、市民に好評です。

令和7年度は、市民の要望や議員の提案を受けて予約受付時間の短縮（45分前まで）、75歳以上の高齢者と同乗する付添人の利用者登録を不要にするなどの改善が行われました。

今後もさまざまな改善を検討しているとのことです。

「どうなん？」で新しい行田へ

事業名 06

老朽空き家等解体補助事業


空き家イメージ図

この事業に一言！

5年間で約3倍に

空き家の『どうしよう』解体補助で解決！



養田 英雄 議員の視点

令和3年度の補助実績は7件、令和7年度には19件で、5年間で約3倍に増加しています。令和8年度も申請が相次ぎ、補正予算を組んでいる状況で市民ニーズの高い事業です。

一方で現在の補助上限額は、1件あたり30万円です。県内の他自治体を見ると、上限50万円とする事例も複数の自治体で見られます。

危険な状態にある老朽空き家のさらなる解体促進へ、市民ニーズを踏まえながら、予算枠や補助上限額など制度拡充の検討が必要です。

事業名 07

体育施設管理運営事業


総合体育館メインアリーナ

この事業に一言！

今後にも期待

皆さまの希望が結実、市民スポーツの新たな幕開けへ



小野寺 貴男 議員の視点

待望の総合体育館のメイン及びサブアリーナ空調設備の設置が実現し、庭球場の照明ＬＥＤ化、弓道場や野球場の改修などが進められ、より一層市民が快適で安全にスポーツを楽しめる環境が整いました。

学校体育館へのスマートロック導入も、運動の場の利便性向上につながります。

今後も子どもから高齢者まで、誰もが気軽に体を動かし、健康づくりや交流を深められるまちの実現に期待感が持てると思います。

初日に
足袋・スリッパ議会を
開催しました。

9月定例会

補正予算、条例改正、決算認定など19議案を審議しました



市長提出議案

補正予算

補正総額1億2958万円余り（原案可決）

行田市実施計画に掲げる施策のひとつである市民の安全・安心の確保のほか、まちの活性化につながる施策や当初予算計上後の事情変更に伴う所要経費など、必要な予算について措置したものです。

歳出の主な内容は、総務費では、県がクビアカツヤカミキリの被害拡大に対応するための緊急対策として補正予算を計上したことを受け、計画していた被害木の伐採等を前倒しで実施するための委託料を措置します。

農業費では、北河原土地改良区が管理する第3揚水機場の水中ポンプが損傷し、地域の営農に支障があることから、補修費用に対する補助を行います。

観光費では、文化庁の日本遺産を活用した魅力ある地域づくり推進モデル事業の採択を受けたことから、新たなコンテンツ醸成と国内外への情報発信に係る各種事業を実施するための委託料を措置します。

土木費では、緊急輸送道路における道路陥没事故の未然防止と災害時の迅速かつ円滑な通行確保を目的に路面下空洞調査を実施するほか、資材費や労務費の高騰などにより工事費等が当初の見込みを上回ることから必要な経費を措置します。

また、老朽空き家等解体補助金の需要が当初の見込み件数を上回り、予算の不足が見込まれることから、追加措置を行います。

なお、これらの歳出を賄う財源として、国・県支出金、繰越金、諸収入、市債により措置するものです。

人事案件

○行田市教育委員会委員の任命につき同意を求めるについて（同意）

五十幡和彦氏の教育委員会委員の任命について同意しました。

○行田市固定資産評価審査委員会委員の任命につき同意を求めるについて（同意）

柿沼隆司氏の固定資産評価審査委員会委員の任命について同意しました。

決算

令和7年度の決算を可決及び認定

令和7年度行田市一般会計歳入歳出決算認定をはじめ、水道事業会計及び公共下水道事業会計利益の処分及び決算認定並びに4特別会計（国民健康保険事業、交通災害共済事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業）の歳入歳出決算認定については、所管の常任委員会で審査を行い、原案可決及び認定しました。

【主な質疑】

問 ごみ収集事業について、令和7年度に比べ可燃ごみと不燃ごみの収集量は減少しているのに対し、粗大ごみ等の収集量が増加している原因は。

答 昨年10月から火災や事故防止のため、スプレー缶等の分別区分を有害ごみに変更したことが影響していると考えられる。

問 移住定住促進事業の決算額が予算の約半分の支出額であるが、どのような検証を行い、どう評価しているか。

答 移住定住コンシェルジュの退職による人件費の執行残及び奨学金返還支援制度の申請者が当初の見込みより少なかったことによるものだが、アンケートによると、申請者の半数以上が本制度が移住のきっかけになったと回答していることから、一定の効果はあるものと考える。

令和8年９月 定例市議会　提出議案とその結果

（市長提出議案）　　（賛成：○　反対：×）

議案番号	会派名及び議員名 ＼ 議案名	議決結果	令和研究会											蒼倫維新				公明党			日本共産党	
			小林淳一	駒見行彦	新涼平	村田清治	小林修	橋本祐一	福島ともお	町田光	野本翔平	梁瀬里司	香川宏行	岩﨑彰	小野寺貴男	養田英雄	吉田豊彦	大屋彰	木村博	田中和美	村田秀夫	斉藤博美
第64号	行田市教育委員会委員の任命につき同意を求めるについて	同意	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第65号	行田市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めるについて	〃	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第66号	令和８年度行田市一般会計補正予算（第３回）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第67号	令和８年度行田市介護保険事業費特別会計補正予算（第２回）	〃	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第68号	令和８年度行田市水道事業会計補正予算（第１回）	〃	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第69号	行田市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例	〃	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第70号	行田市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	〃	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第71号	行田市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例	〃	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第72号	行田市国民健康保険条例の一部を改正する条例	〃	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第73号	行田市景観条例の一部を改正する条例	〃	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第74号	行田市企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例	〃	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第75号	行田市立小中学校学習者用及び教職員等用タブレット端末フィルタリングソフトライセンスの取得について	〃	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第76号	令和７年度行田市一般会計歳入歳出決算認定について	〃	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第77号	令和７年度行田市国民健康保険事業費特別会計歳入歳出決算認定について	〃	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第78号	令和７年度行田市交通災害共済事業費特別会計歳入歳出決算認定について	〃	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第79号	令和７年度行田市介護保険事業費特別会計歳入歳出決算認定について	〃	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第80号	令和７年度行田市後期高齢者医療事業費特別会計歳入歳出決算認定について	〃	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第81号	令和７年度行田市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	〃	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第82号	令和７年度行田市公共下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	〃	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

※議長は採決に加わりません。（可否同数の場合は議長裁決となります。）

委員会審査ピックアップ

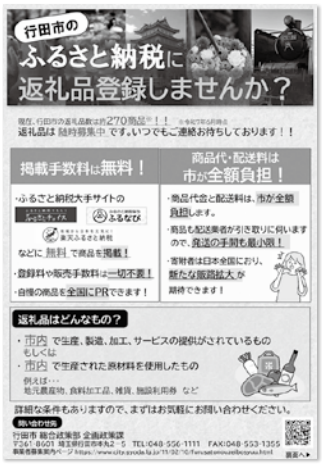
総務文教常任委員会

令和7年度行田市一般会計歳入歳出決算認定

○ふるさと納税促進事業

問 市はどういう姿勢でこの事業を実施しているのか。

答 本市における市税収入の伸びが期待できない中で、ふるさと納税制度は貴重な自主財源となることから、今以上に寄附額を増やす努力をしていきたい。また、本市の知名度、ブランド力を高める絶好の機会として機能しているものと認識している。



ふるさと納税

○図書館管理運営事業

問 図書の貸出し状況が減少している理由について。

答 インターネットなどの普及により情報や書籍を手軽に入手できる環境が整ったことで、図書館に足を運ぶ必要性が薄れているものと考える。

建設環境常任委員会

令和8年度行田市一般会計補正予算（第3回）

○クビアカツヤカミキリ対策費

問 被害木の伐採を前倒しで行うとのことだが、その詳細は。

答 小・中学校26本、酒巻導水路48本、水城公園10本、忍川水辺10本（計94本）の伐採を前倒しで実施するものである。


クビアカツヤカミキリ
資料提供：埼玉県環境科学国際センター

令和7年度行田市一般会計歳入歳出決算認定

○住宅用防犯カメラ設置費補助事業

問 一軒の家が一度に複数台設置した場合も補助対象になるのか。

答 一軒につき、3万円を上限として補助の対象となる。

○企業誘致促進事業

問 企業への立地に関するアンケートについて、対象企業の選定方法は。

答 立地実績や市内企業との取引状況等、行田市の産業構造分析を実施し、2150件を抽出したものである。

○市営住宅管理事業

問 埼玉県住宅供給公社の緊急受付センターと市の連携は。

答 四半期ごとに公社からまとめて修繕内容の報告を受けているほか、大規模なものについてはその都度情報共有をする体制となっている。

健康福祉常任委員会

令和7年度行田市一般会計歳入歳出決算認定

○消防緊急通信指令センター共同事業

問 熊谷市との共同運用により、市単独で運用する場合と比較して、どのようなメリットがあるか。

答 通常の出動においては、共同運用と単独運用に差はないと考えている。大規模災害や各々の市町村で応援が必要な災害が発生した場合に、共同運用していることで情報を素早く一元化でき、応援隊が早期に到着できるというメリットがある。

○ヤングケアラー実態調査

問 ヤングケアラーに該当する子どもへの支援はどのように行ったのか。

答 ヤングケアラーと推察される児童生徒は23名であり、リストアップした資料を全20校に提供した。

その後、学校が対象者に対し、面談や見守りなどを通じて状況を確認した結果、既に市が関わっている世帯を除き、新規に支援が必要な児童生徒は確認されなかった。

○敬老お祝品引換事業及び高齢者優待制度

問 引換券を約半分しか利用されていないことに対する市の認識は。

答 引換券の利用者からは概ね好評である一方で、対象店舗までの移動手段がなく引換できない等の意見もあるため、意見をもとに今後の事業運営を考えていきたい。



敬老お祝い品引換券

市政について、
各議員がみずからの政策提言も含めて、
市に考えを聞くのが「一般質問」。
9月定例会では17人の議員が一般質問を行いました。

一般質問

◆会議録
冊子は市役所市政情報コーナー、図書館でご覧いただけます。
※9月定例会の会議録は12月に発行予定です。

◆インターネット議会中継
市議会の様子(生中継・録画映像)をパソコンやスマートフォンでご覧いただけます。
また、**各議員の写真脇にある二次元コードから一般質問の録画映像をご覧いただけます。**

二次元コードを読み取ると
議会中継がご覧いただけます。

安定しないコメ価格、給食の質は守れるか



小林淳一(令和研究会)

問 コメ価格が変動しても、給食の質は守れるのか?
答 市は栄養価を維持し、副菜の質を下げたり、保護者負担を増やしたりする考えはないと答弁した。

問 現在の主食と費用の状況は?
答 主食費の約77%を米が占め、全て行田産米を使用している。一方、米価の上昇は副菜費を圧迫する可能性がある。

問 行田産米をさらに活用できないか?
答 地産地消につながるが、価格変動を踏まえ、米・パン麺を組み合わせて安定提供するとの答弁だった。

問 給食の質を高めるための提案は?
答 私は、価格に左右されず栄養価を確保することに加え、金芽米の試験導入や行田産米の活用拡大を提案した。子どもの健康を第一に、給食の質を守る取組を求めた。

〔その他の主な質問〕
○障害者就労支援と福祉機器導入の推進について、継続検証

市民の安全・安心確保 地域防災力の向上



小林 修(令和研究会)

近年は、これまでの想定を超える台風や集中豪雨など大規模な自然災害が発生している。災害は忘れた頃にやって来ると言われるが、今はいつ発生してもおかしくない時代になっている。行政は過去の災害に学び、いつ来るか分からない自然災害に対して、市民の皆様が日頃の心構え、備えを忘れずに生活出来るよう支援し、安全・安心な環境で暮らせるよう、自助共助公助の連係と分担により災害に強いまちづくりに取り組まなければならない。

問 自主防災組織の実践的な活動に対するサポートの昨年度の実績、今後の予定は。
答 昨年度は防災資機材等の購入に係る自主防災組織補助金において、23件で約184万円を交付したほか、地域の防災意識の向上のため、出前講座や防災訓練など、43回参加指導した。今後も引き続き自主防災組織補助金や出前講座等を継続し、ハード面、ソフト面の強化と地域防災力の向上のための支援を行う。

今後の公園の在り方／アライグマ対策



小野寺貴男（蒼倫維新）

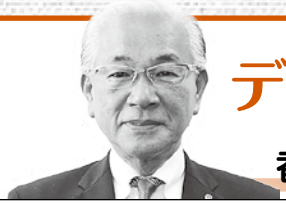
問 **全ての公園に均一な遊具（滑り台・ブランコ等）を配置するのではなく、地域エリアごとに役割（子育て、スポーツ、高齢者健康増進、防災拠点、市民農園等）を特化・分担する再編が必要であると考えるが市の見解は？**

答 開設50年以上が経過した公園が多く、改修期を迎えている。地域ニーズや利用状況を見極めた上で、集約化や特定機能（健康遊具設置、防災機能強化等）の特化・分担について総合的に検討・研究を進める。

問 **アライグマ等の住居への侵入による被害について、熊谷市で実施されている駆除・消毒・復旧費用の補助制度（費用1／2・上限5万円等）のように、市民の負担軽減のための補償・支援制度の導入は検討できないか？**

答 住居侵入に伴う駆除費用等の補償・補助制度の創設について現時点で予定はないが、まずは屋外での防除活動を優先的に進めつつ、先進自治体の事例を調査研究していく。

デジタル教科書の導入／県産木材使用の新校舎建設を



香川宏行（令和研究会）

問 **デジタル教科書のメリット・デメリットを、市はどのように受け止めているか。**

答 拡大機能や音声読み上げ、動画の活用等、全ての子どもたちが等しく学ぶことを実現させることにより、誰一人取り残さない教育につながるものと考える。一方でデメリットとして、視力の低下等健康面への影響が指摘されていることから、教職員等と意見を交わしながら適切な採択と運用に取り組んでいく。

問 **教科書は紙のみ、紙とデジタルのハイブリッド、完全デジタルのどれを選択するのがベストと考えているか。**

答 多様な特性や発達段階における活用方法の選択が可能なハイブリッド形態が望ましいと考える。

問 **新校について、ぬくもりや斬新かつ独創的な校舎建設を目指し、周辺環境と調和する県産木材を使用した木造校舎を建設する考えはあるか。**

答 現時点では鉄骨造で建築する方向だが、床、壁、家具等内装の木質化を図っていく。

その粗大ごみ、本当に捨てますか？



養田英雄（蒼倫維新）

問 **過去3年間の粗大ごみの処理にかかる経費が増加傾向だが、考えられる原因は？**

答 粗大ごみ処理場が築40年以上経過している中で、設備の突発的な故障などにより、その都度緊急の修繕を行っていることが増加要因と考える。

問 **粗大ごみの有価物について、主な内訳は。**

答 アルミ製品や銅線、バッテリーなどがこれに該当する。

問 **再利用可能な家具や子ども用品等の試験的な譲渡会を開催する考えはあるか。**

答 リユース可能なものを、粗大ごみ処理場に入ってから分けて保管して、それから譲渡までする仕組みを設けるには、人員の確保や物理的なスペースが必要になる。リユースの取組については、引き続き調査研究していく。





公民館のトイレ環境／学校再編計画を確実に進めるために

岩﨑　彰（蒼倫維新）

地域コミュニティ拠点、災害時の避難所となる地域公民館のトイレ環境は設置年や地域規模により格差が大きいことに疑問。洋式化を求め質す。

問　点検・改修、洋式化の計画的取組について。

答　トイレの洋式化は、施設の構造上の問題等あるが、指定避難所としての機能や安全性の向上を図る取組の一環として検討していく。

義務教育学校（仮称）基本構想が本年4月に示されて5カ月。社会環境・経済環境は大きく変化し、今後も変化が見込まれる。策定時の条件が今後も通用するのか質す。

問　さいたま市南区における義務教育学校建設工事3回入札不調、夏の自治体工事休止拡大に伴う工期延長、市債発行の金利上昇、資材価格値上がり等今後想定されるリスクについてどう対応していくか。

答　施工事業者へのサウンディング調査、市場の動向を探る、建設業界の状況を掴む等入札不調などが起きないよう取り組んでいきたい。

「新しい行田」の実現に向けて



田中和美（公明党）

問　市長就任から約3年半が経過する。特筆すべき成果は。

答　子育て支援や移住定住施策の充実により昨年度は602人の社会増となり市民や事業者の連携による観光振興等、国・県の補助金他有利な財源を活用し、市の負担を抑えながら様々な事業を進めてきた。

問　今後、最も重要な課題は。

答　人口の自然減、特に子どもたちや若い世代の減少を深刻な課題と捉え、若者の声を聞き、子育て世代や若年層に選ばれるまちづくりを進める。

問　学校再編まちづくりや交通インフラ整備など、長期にわたる政策についての考えは。

答　これらの成果には時間を要するため、重要な施策として、着実に推進していく。

問　今後「新しい行田」をどのように発展させていくか。

答　基本構想で描く未来に希望を持てるまちを、市民・議会の皆様と行政が力を合わせ築いていきたい。

〔その他の主な質問〕

○支援を必要とする方への具体的提案（オストメイト等）



観光まちづくり 秩父線行田市駅のエレベーター設置を

村田秀夫（日本共産党）

問　観光まちづくりの一環でまちなかウオーカブル推進事業・秩父線行田市駅南口の再整備を実施したが、その狙いと市駅の位置づけは。

答　忍城址や足袋蔵などの歴史的資源へのアクセスを強化し、まちなかを回遊しやすくする事業で、行田市駅はその玄関口としての役割を担う。

問　バリアフリー、市民生活の利便性の向上と共に観光のまちづくりの面からも、市駅へのエレベーター設置は必須ではないか。

答　エレベーター設置は重要な課題であり、駅跨線橋の南北に市で2基、ホームへ降りるためのものを秩父鉄道で1基の合計3基を双方で一体となって整備すべきものである。

問　秩父鉄道との協議はどのような状況なのか。

答　県を通じて鉄道整備要望を出し、平成25年度以来10回の協議を行っているが、設置費用の問題や乗降客数の面で現時点では困難との回答である。引き続き、秩父鉄道へ要望し協議を行っていく。

Bブロック新校の通学路（徒歩・自転車）の安全確保



木村　博（公明党）

問 **新校の通学路の安全確保（徒歩・自転車）の進め方と検討体制について伺う。**

答 本年庁内連絡会議を設置し、7月10日には徒歩・自転車通学者の通学路における安全確保・周辺整備について交通政策課や道路治水課、管理課等と連携し検討を開始した。

問 **今年度以降のスケジュールと内容について伺う。**

答 今年度は教育委員会が中心になり現場確認を実施し、Bブロックに属する小・中学校の先生方や地域の方に情報提供を頂いて意見を聞きながら、通学路の素案を考えていく。来年度は開校準備委員会を設置する予定であり、その中で案を精査していく。

問 **通学路案が決まり、その中で安全対策について、関係機関と協議し、整備を依頼することになるが、早期に協議ができるための前提条件とは。**

答 具体的な通学路の案、危険個所の抽出と安全対策に対する優先順位の決定が前提条件であり、いつ何をやるべきか等の整理も重要である。

行田市の子育て支援は？フェミニズムの視点から考えてみた！



野本翔平（令和研究会）

「なぜ人間の生命を生み育て、その死を看取るという労働（再生産労働）が、その他のすべての労働の下位に置かれるのか。」という上野千鶴子氏の言葉に強く共感し、改めて本市の子育て施策を質すことにした。

問 **母子の命を救うために、赤ちゃんポストの設置を検討すべきではないか。**

答 様々な課題があることから検討の予定はない。

問 **次に、アフターピルの市内販売場所と値段は。**

答 市内3か所のウエルシア薬局（谷郷・棚田・佐間店）で購入できる。価格はだいたい七千円。

問 **妊娠や出産に関する相談はメールなどで気軽にできるようにすべきではないか。**

答 今後検討する。



災害への対策強化 道路等のアンダーパス対応



梁瀬里司（令和研究会）

問 **アンダーパスの浸水対策（対応）はどのようか。**

答 本市が管理する国道125号アンダーパスについては、毎年、出水期前に専門業者による排水ポンプの保守点検を実施している。また、台風やゲリラ豪雨などの発生時には、職員によるパトロールを適宜実施し、道路冠水を確認した場合には、速やかに通行止めの対応を行い、市民の皆様への周知を図ることとしている。

問 **通行止め時のバリケードについて、反射鏡など、夜間でも分かる措置が講じられているか。**

答 夜間など視認性を確保するために、反射シートや点滅灯を備えたバリケードを配置し、通行者が安全に迂回できるような措置を取っている。

〔その他の主な質問〕

○避難所停電時対応（非常発電機の設置）
○「災害対策用品」購入補助制度の創設
○「暑さ対策用品」購入補助制度の創設
○子どものSNS対策



商店街の活性化 －既存の建物を活用して－

駒見行彦（令和研究会）

問 商店街に企業誘致をするということが都市計画の取組の中に合致してくると考える。
　商店街を屋外のショッピングモールに見立て、既存の市内業者へ出店を依頼し、足袋屋さんや市内にある牛乳工場の直営で出来たての商品を販売したり、果物屋さんが出店しジェラートなどを販売する等、既存のものを活用した方が良い。
　さらにはものつくり大学にもそれらを建築する時や改修する時に依頼をすることで、まちが活性化していくのではないか。

答 まちなか、特に商店街の活性化については現在、新たに起業する人などを中心に支援を行っている。またこのたび店舗併用住宅を貸し出せるような方向で取り組めないかという新しい事業も始めた。
　ご提案の内容に加えて市内事業者の活用、また若者、いろいろな方にまちなかに関わっていただいて商店街を活性化していくアイデアである。
　今後、事業を検討していく上で参考にさせていただく。



ナガエツルノゲイトウの早期発見・早期駆除で予防を

斉藤博美（日本共産党）

問 ナガエツルノゲイトウは、茎や根のわずかな断片で再生する強い繁殖力を持ち、水路や河川の流れを阻害し、農業にも影響を及ぼす。国・県に比べ市の認識は薄い。その危険性をどう認識しているか。

答 早期発見・早期駆除が基本であると認識している。

問 熊谷市での確認を踏まえ、行田市への侵入可能性も十分にあると考えるが市はどうか。

答 水路からの侵入は十分に可能性がある。市内の発生は現在なく、独自調査も未実施。（質問後市内の水田でも確認）。

問 侵入前から市民などの協力による早期発見が必要では。市公式ＬＩＮＥの通報から写真や発見場所を送れる仕組みを作ってはどうか。

答 活用を検討していく。

問 特定外来生物に対する国の交付金がある。防除や、啓発・調査も対象。警戒すべき外来種リストを作成しては。

答 交付金も含め、有効な取組について研究していく。

〔その他の主な質問〕

○都市計画税は公平なのか



自主財源確保のために！ 広告収入の拡大を

福島ともお（令和研究会）

問 自主財源確保のために、少しでも広告収入を増やしたほうがよいと考えるが、広告収入について現状はどうなっているのか。

答 市報ぎょうだや市ホームページをはじめ、本庁舎正面入り口付近や市内循環バスに設置した広告つきモニターなどのデジタルサイネージへの広告掲載を行っており、昨年度の広告収入は２２１万６千円となっている。

問 広告媒体を広げていく考えはあるのか。

答 将来にわたって持続可能な行政運営を実現するためには、自主財源の確保という視点から広告収入も重要である。
　一方で、公共施設や観光資源などを新たに広告媒体として利活用する場合においては、住民の理解や他の事業者への影響等を踏まえ、慎重に判断する必要がある。



デジタルサイネージ

行田らしい健康づくり



大屋　彰（公明党）

同じ足袋の産地として、徳島県鳴門市では、足袋と健康・スポーツを組み合わせた「ナルトレタビ」という取組があり、足袋の地域の産業としてだけでなく、新しい分野にも活用している取組がある。

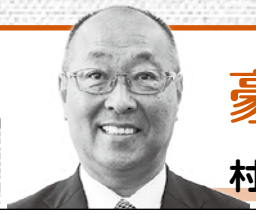
問　本市にも、足袋という大きな地域資源があり、過去に「足袋で健康に」という取組が行われている。過去の取組や他自治体の事例を参考にし、行田らしい健康づくりを今後、検討する考えはあるか。

答　市民の皆様に関心をもっていただくこと、主体的かつ継続的な取組につながっていくことが大切と考えている。参考とさせていただき、引き続き事業の充実に努める。

〔その他の主な質問〕
○ムクドリによる生活環境への影響について



豪雨災害に備えて －指定避難所にエアコンを－



村田清治（令和研究会）

問　市内の指定避難所の中で最大規模となる行田市総合体育館のメイン、サブアリーナの空調設備が本年6月から稼働開始となり、多くの市民が安堵したものと思う。それでも、地震や豪雨、特に、この地域で警戒しなければならないのは豪雨災害だと実感しているが、指定避難所（小中学校体育館）にエアコン設備がないことをどう捉えているか。

答　近年、自然災害が多発していることや地球温暖化の影響により年々気温が上昇しているため、災害時における避難者の熱中症などの健康被害予防の観点からエアコン設備の設置は喫緊の課題であると認識している。学校施設における災害時の運用として施設管理者と連携の上、教育活動に影響のない範囲で、校舎内の教室を避難スペースとして活用する。

〔その他の主な質問〕
○さきたまに続く新たな特産品となり得る農産物は何か
○ふるさと納税額を増額する有効な方策は何か

その「当たり前」今も必要ですか？



新　諒平（令和研究会）

【教育】単発から習慣へ

問　新聞を活用した学習を、全市で習慣化しては？

答　市内20校中16校で実施しており、情報を読み解く力や思考力、判断力、表現力を育む重要な取組と認識。朝学習等での習慣的な取組を検討するとの答弁がありました。

現在は学校ごとに月1回から週1回程度など取組に差があります。学力の高い秋田県横手市などの取組を参考に、単発ではなく全市で毎日の習慣とすることを求めました。

【ごみ】地域任せを見直す

自治会未加入者も利用する一方、清掃や管理は地域住民が担い、負担の不均衡を市も課題として認識しています。

問　24時間利用できる市営ごみステーションを、まずは1か所から実証しては？

答　現在、市民が通常利用できる市営集積所は0か所。全国の事例も把握しており、この方式も「検討の一つ」との答弁がありました。

〔その他の主な質問〕
○広報戦略

議会日誌

令和8年 8月13日～11月11日

8月

17日　議会改革推進委員会
17日　議会基本条例検討委員会
18日　「一日市長体験」（議会対応体験）
18日　幹事長会議
18日　議員研修
（議員のための「伝える力」向上研修）
24日　議会運営委員会
28日~9月29日　9月定例会
28日　議会運営委員会

9月

8日　議会だより編集委員会
25日　議会改革推進委員会
25日　議会基本条例検討委員会
29日　議会運営委員会

10月

5日　宮城県利府町行政視察来庁
8日~9日　全国都市問題会議
8日　埼玉県宮代町行政視察来庁
13日~15日　建設環境常任委員会行政視察
（福岡県福岡市、山口県山口市、山口県宇部市）
14日　愛知県碧南市行政視察来庁
16日　議会だより編集委員会
19日~21日　健康福祉常任委員会行政視察
（静岡県焼津市、三重県津市、愛知県尾張旭市）
20日~22日　総務文教常任委員会行政視察
（愛知県西尾市、大阪府豊中市、大阪府池田市）
23日　議会だより編集委員会
26日　議会基本条例検討委員会
28日　滋賀県彦根市行政視察来庁
29日　愛知県弥富市行政視察来庁

11月

1日　議場コンサート
9日　議員説明会

6人の市長が登壇!!　～一日市長体験　議会編～



8月18日、子どもたちの市政への関心や理解、郷土愛を深めることを目的に、市内在住の中学生6人が「一日市長」に就任し、議場で議員からの質問に答える「答弁」の体験をしました。

議場では、参加した議員から「市長が考える行田市の問題点やその解決策、理想の行田市、市長としてやりたいこと」についての質問があり、それぞれの意見や提案、市への思いを答弁されました。

参加した議員も、一日市長の意見や思いを参考にするため、熱心にメモを取ったり、意見に聞き入っていました。

「伝えること 伝わること」　議員のための「伝える力」向上研修



8月18日、「議員のための『伝える力』向上研修」として、株式会社会議録センターを講師にお招きし、議員研修を開催しました。

住民にとって必要な情報とは何か、議員が伝えるべき情報とは何かを、改めて考える機会となりました。

また、議会だよりや一般質問など議員から発信する内容について、一方的に伝えたつもりになっていないかを検証するなど、新たな視点での発信方法を学びました。

この研修で学んだ内容が一般質問や議会だよりで発揮できているか、ぜひご確認ください。

市議会を傍聴してみませんか

12月 行田市議会定例会 日程表（予定）

12月定例会は11月25日㈬開会予定であり、日程（案）の決定は11月16日㈬予定の議会運営委員会で決まります。



市議会には定例会（3月、6月、9月、12月）と、必要がある場合に開かれる臨時会とがあります。
議場は市役所の3階にありますので、エレベーターをご利用ください。※定員46名

日	月	火	水	木	金	土
11/22	23	24	25 本会議/招集日（提案説明）	26（議案調査）	27（議案調査）	28
29	30 本会議（議案質疑）	12/1	2 本会議（一般質問）	3 本会議（一般質問）	4 本会議（一般質問）	5
6	7 本会議（一般質問・委員会付託等）	8 議案調査	9 建設環境常任委員会	10 健康福祉常任委員会	11 総務文教常任委員会	12
13	14（事務整理）	15（事務整理）	16（事務整理）	17（事務整理）	18 本会議/最終日（委員長報告・質疑・討論・採決・閉会）	19

※日程は予定であり、変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

LINEでも発信!!

市の公式LINEからも市議会情報がご覧いただけます。



※画面はイメージです。

本会議の日程や議会だより等についてお知らせしています。ぜひご利用ください。

友だち追加はこちらから

編集後記

9月定例会は決算議会。市が実施した事業について、その成果を検証する議会です。予算を使ったその先に、どんな成果が生まれたのか。市民生活は良くなったのか。数字だけを見るのではなく、事業の効果や課題を確認し、次年度につなげていくことが決算議会の大切な役割です。今回の議会だよりでは、特集記事として議員からの『この事業に一言!』を掲載しました。新しい景色が見えてきます。

（養田 英雄）

編集委員



委員長 新 諒平
委員 野本 翔平
委員長 駒見 行彦
委員 村田 秀夫
委員 養田 英雄
副委員長 大屋 彰
委員 小野寺貴男
委員 橋本 祐一

■編集・発行／行田市議会　議会だより編集委員会
〒361-8601 行田市本丸2番5号 TEL.556-1111（代）・553-1550（直） FAX.554-2455

R100 古紙配合率100%再生紙を使用